

魚介類の分析結果<福島第一原子力発電所20km圏内>(γ)

(1/7)

採取地点	試料名 (部位)	採取日	分析項目		
			Cs-134 (Bq/kg(生))	Cs-137 (Bq/kg(生))	Cs合計 (Bq/kg(生))
太田川沖合1km付近(T-S1)	ガザミ(全体)	2022/10/7	< 3.4E+00	< 4.1E+00	ND
太田川沖合1km付近(T-S1)	コモンカスベ(筋肉)	2022/10/7	< 3.3E+00	< 3.8E+00	ND
太田川沖合1km付近(T-S1)	ニベ(筋肉)	2022/10/7	< 4.2E+00	< 3.3E+00	ND
太田川沖合1km付近(T-S1)	ヒラメ(筋肉)No.1	2022/10/7	< 5.3E+00	< 5.3E+00	ND
太田川沖合1km付近(T-S1)	ホシザメ(筋肉)	2022/10/7	< 3.5E+00	< 4.1E+00	ND
小高区沖合3 km付近(T-S2)	アカエイ(筋肉)	2022/10/7	< 3.5E+00	< 3.3E+00	ND
小高区沖合3 km付近(T-S2)	ヒラメ(筋肉)No.1	2022/10/7	< 3.8E+00	< 3.9E+00	ND
小高区沖合3 km付近(T-S2)	ヒラメ(筋肉)No.2	2022/10/7	< 5.8E+00	< 5.5E+00	ND
小高区沖合3 km付近(T-S2)	マトウダイ(筋肉)	2022/10/7	< 3.6E+00	< 3.8E+00	ND
請戸川沖合3 km付近(T-S3)	アイナメ(筋肉)	2022/10/20	< 4.3E+00	< 3.3E+00	ND

- ・核種毎の半減期：Cs-134(約2年), Cs-137(約30年)
- ・不等号(<:小なり)は、検出限界値未満(ND)を表す。
- ・基準値(2012年4月1日以降)Cs-134、Cs-137の合計：1.0E+02Bq/kg。
- ・分析機関：東京パワーテクノロジー(株)
- ・〇.〇E±〇とは、〇.〇×10^{±〇}であることを意味する。
 (例) 3.1E+01は3.1×10¹で31, 3.1E+00は3.1×10⁰で3.1, 3.1E-01は3.1×10⁻¹で0.31と読む。

魚介類の分析結果<福島第一原子力発電所20km圏内> (γ)

(2/7)

採取地点	試料名 (部位)	採取日	分析項目		
			Cs-134 (Bq/kg(生))	Cs-137 (Bq/kg(生))	Cs合計 (Bq/kg(生))
請戸川沖合3km付近(T-S3)	カスザメ(筋肉)	2022/10/20	< 4.2E+00	< 3.7E+00	ND
請戸川沖合3km付近(T-S3)	コモンカスベ(筋肉)	2022/10/20	< 4.2E+00	< 3.2E+00	ND
請戸川沖合3km付近(T-S3)	ヒラメ(筋肉)No.1	2022/10/20	< 3.5E+00	< 3.7E+00	ND
請戸川沖合3km付近(T-S3)	ヒラメ(筋肉)No.2	2022/10/20	< 5.6E+00	< 5.6E+00	ND
請戸川沖合3km付近(T-S3)	ホウボウ(筋肉)	2022/10/20	< 3.4E+00	< 3.5E+00	ND
請戸川沖合3km付近(T-S3)	マトウダイ(筋肉)	2022/10/20	< 3.7E+00	< 3.7E+00	ND
1F敷地沖合3km付近(T-S4)	カスザメ(筋肉)	2022/10/20	< 3.5E+00	< 3.6E+00	ND
1F敷地沖合3km付近(T-S4)	ガザミ(全体)	2022/10/20	< 3.3E+00	< 3.4E+00	ND
1F敷地沖合3km付近(T-S4)	ヒラメ(筋肉)No.1	2022/10/20	< 5.9E+00	< 4.5E+00	ND
1F敷地沖合3km付近(T-S4)	ホウボウ(筋肉)	2022/10/20	< 3.2E+00	< 3.4E+00	ND

- ・核種毎の半減期：Cs-134(約2年), Cs-137(約30年)
- ・不等号(<:小なり)は、検出限界値未満(ND)を表す。
- ・基準値(2012年4月1日以降)Cs-134、Cs-137の合計：1.0E+02Bq/kg。
- ・分析機関：東京パワーテクノロジー(株)
- ・ $\text{〇.〇E}\pm\text{〇}$ とは、 $\text{〇.〇}\times 10^{\pm\text{〇}}$ であることを意味する。
(例) $3.1\text{E}+01$ は 3.1×10^1 で31, $3.1\text{E}+00$ は 3.1×10^0 で3.1, $3.1\text{E}-01$ は 3.1×10^{-1} で0.31と読む。

魚介類の分析結果<福島第一原子力発電所20km圏内> (γ)

(3/7)

採取地点	試料名 (部位)	採取日	分析項目		
			Cs-134 (Bq/kg(生))	Cs-137 (Bq/kg(生))	Cs合計 (Bq/kg(生))
1 F敷地沖合3 km付近(T-S4)	マトウダイ(筋肉)	2022/10/20	< 3.7E+00	< 3.7E+00	ND
木戸川沖合2 km付近(T-S5)	カスザメ(筋肉)	2022/10/13	< 3.6E+00	< 4.1E+00	ND
木戸川沖合2 km付近(T-S5)	コモンカスベ(筋肉)	2022/10/13	< 3.6E+00	< 3.8E+00	ND
木戸川沖合2 km付近(T-S5)	ヒラメ(筋肉)No.1	2022/10/13	< 3.3E+00	< 4.5E+00	ND
木戸川沖合2 km付近(T-S5)	ヒラメ(筋肉)No.2	2022/10/13	< 6.5E+00	< 5.5E+00	ND
木戸川沖合2 km付近(T-S5)	マダイ(筋肉)	2022/10/13	< 3.8E+00	< 3.9E+00	ND
2 F敷地沖合2 km付近(T-S7)	クロソイ(筋肉)	2022/10/13	< 4.2E+00	< 3.6E+00	ND
2 F敷地沖合2 km付近(T-S7)	コモンカスベ(筋肉)	2022/10/13	< 3.8E+00	< 3.2E+00	ND
2 F敷地沖合2 km付近(T-S7)	ヒラメ(筋肉)No.1	2022/10/13	< 3.0E+00	< 3.2E+00	ND
2 F敷地沖合2 km付近(T-S7)	ヒラメ(筋肉)No.2	2022/10/13	< 4.0E+00	< 3.0E+00	ND

- ・核種毎の半減期：Cs-134(約2年), Cs-137(約30年)
- ・不等号(<:小なり)は、検出限界値未満(ND)を表す。
- ・基準値(2012年4月1日以降)Cs-134、Cs-137の合計：1.0E+02Bq/kg。
- ・分析機関：東京パワーテクノロジー(株)
- ・ $\text{〇.〇E}\pm\text{〇}$ とは、 $\text{〇.〇}\times 10^{\pm\text{〇}}$ であることを意味する。
(例) $3.1\text{E}+01$ は 3.1×10^1 で31, $3.1\text{E}+00$ は 3.1×10^0 で3.1, $3.1\text{E}-01$ は 3.1×10^{-1} で0.31と読む。

魚介類の分析結果<福島第一原子力発電所20km圏内> (γ)

(4/7)

採取地点	試料名 (部位)	採取日	分析項目		
			Cs-134 (Bq/kg(生))	Cs-137 (Bq/kg(生))	Cs合計 (Bq/kg(生))
2F敷地沖合2km付近(T-S7)	マダイ(筋肉)	2022/10/13	< 3.6E+00	< 3.1E+00	ND
熊川沖合4km付近(T-S8)	カスザメ(筋肉)	2022/10/4	< 4.2E+00	< 3.7E+00	ND
熊川沖合4km付近(T-S8)	ガザミ(全体)	2022/10/4	< 2.8E+00	< 4.3E+00	ND
熊川沖合4km付近(T-S8)	コモンカスベ(筋肉)	2022/10/4	< 3.7E+00	< 4.0E+00	ND
熊川沖合4km付近(T-S8)	ヒラメ(筋肉)No.1	2022/10/4	< 3.5E+00	< 3.8E+00	ND
熊川沖合4km付近(T-S8)	ヒラメ(筋肉)No.2	2022/10/4	< 4.0E+00	< 3.3E+00	ND
小高区沖合1.5km付近(T-B1)	カナガシラ(筋肉)	2022/11/10	< 3.4E+00	< 3.9E+00	ND
小高区沖合1.5km付近(T-B1)	コモンカスベ(筋肉)	2022/11/10	< 3.1E+00	< 2.7E+00	ND
小高区沖合1.5km付近(T-B1)	シヨウサイフグ(筋肉)	2022/11/10	< 3.2E+00	< 3.5E+00	ND
小高区沖合1.5km付近(T-B1)	チダイ(筋肉)	2022/11/10	< 3.4E+00	< 3.0E+00	ND

- ・核種毎の半減期：Cs-134(約2年), Cs-137(約30年)
- ・不等号(<)は、検出限界値未満(ND)を表す。
- ・基準値(2012年4月1日以降)Cs-134、Cs-137の合計：1.0E+02Bq/kg。
- ・分析機関：東京パワーテクノロジー(株)
- ・ $0.0E \pm 0$ とは、 $0.0 \times 10^{\pm 0}$ であることを意味する。
(例) $3.1E+01$ は 3.1×10^1 で31, $3.1E+00$ は 3.1×10^0 で3.1, $3.1E-01$ は 3.1×10^{-1} で0.31と読む。

魚介類の分析結果<福島第一原子力発電所20km圏内>(γ)

(5/7)

採取地点	試料名 (部位)	採取日	分析項目		
			Cs-134 (Bq/kg(生))	Cs-137 (Bq/kg(生))	Cs合計 (Bq/kg(生))
小高区沖合1.5km付近(T-B1)	マダイ(筋肉)	2022/11/10	< 3.6E+00	< 3.5E+00	ND
小高区沖合1.5km付近(T-B1)	マトウダイ(筋肉)	2022/11/10	< 3.3E+00	< 3.4E+00	ND
請戸川沖合1.8km付近(T-B2)	カナガシラ(筋肉)	2022/11/10	< 3.7E+00	< 4.0E+00	ND
請戸川沖合1.8km付近(T-B2)	シログチ(筋肉)	2022/11/10	< 3.6E+00	< 3.7E+00	ND
請戸川沖合1.8km付近(T-B2)	チダイ(筋肉)	2022/11/10	< 3.7E+00	< 3.2E+00	ND
請戸川沖合1.8km付近(T-B2)	ホシザメ(筋肉)	2022/11/10	< 4.6E+00	< 3.7E+00	ND
請戸川沖合1.8km付近(T-B2)	マトウダイ(筋肉)	2022/11/10	< 3.7E+00	< 3.4E+00	ND
請戸川沖合1.8km付近(T-B2)	ムシガレイ(筋肉)	2022/11/10	< 2.9E+00	< 3.6E+00	ND
請戸川沖合1.8km付近(T-B2)	メイタガレイ(筋肉)	2022/11/10	< 4.0E+00	< 3.8E+00	ND
1F敷地沖合1.0km付近(T-B3)	カナガシラ(筋肉)	2022/10/28	< 3.6E+00	< 4.2E+00	ND

- ・核種毎の半減期：Cs-134(約2年), Cs-137(約30年)
- ・不等号(<)は、検出限界値未満(ND)を表す。
- ・基準値(2012年4月1日以降)Cs-134、Cs-137の合計：1.0E+02Bq/kg。
- ・分析機関：東京パワーテクノロジー(株)
- ・ $\text{〇.〇E}\pm\text{〇}$ とは、 $\text{〇.〇}\times 10^{\pm\text{〇}}$ であることを意味する。
(例) 3.1E+01は 3.1×10^1 で31, 3.1E+00は 3.1×10^0 で3.1, 3.1E-01は 3.1×10^{-1} で0.31と読む。

魚介類の分析結果<福島第一原子力発電所20km圏内> (γ)

(6/7)

採取地点	試料名 (部位)	採取日	分析項目		
			Cs-134 (Bq/kg(生))	Cs-137 (Bq/kg(生))	Cs合計 (Bq/kg(生))
1 F 敷地沖合 10 km 付近(T-B3)	シヨウサイフグ(筋肉)	2022/10/28	< 3.6E+00	< 3.2E+00	ND
1 F 敷地沖合 10 km 付近(T-B3)	チダイ(筋肉)	2022/10/28	< 2.7E+00	< 3.6E+00	ND
1 F 敷地沖合 10 km 付近(T-B3)	ホウボウ(筋肉)	2022/10/28	< 4.0E+00	< 4.0E+00	ND
1 F 敷地沖合 10 km 付近(T-B3)	ホシザメ(筋肉)	2022/10/28	< 4.1E+00	3.3E+00	3.3E+00
1 F 敷地沖合 10 km 付近(T-B3)	マダイ(筋肉)	2022/10/28	< 3.6E+00	< 4.4E+00	ND
1 F 敷地沖合 10 km 付近(T-B3)	マトウダイ(筋肉)	2022/10/28	< 3.2E+00	< 3.2E+00	ND
2 F 敷地沖合 10 km 付近(T-B4)	カナガシラ(筋肉)	2022/10/28	< 3.2E+00	< 3.6E+00	ND
2 F 敷地沖合 10 km 付近(T-B4)	コモンカスベ(筋肉)	2022/10/28	< 3.5E+00	< 3.8E+00	ND
2 F 敷地沖合 10 km 付近(T-B4)	シヨウサイフグ(筋肉)	2022/10/28	< 4.2E+00	< 3.2E+00	ND
2 F 敷地沖合 10 km 付近(T-B4)	チダイ(筋肉)	2022/10/28	< 4.5E+00	< 3.5E+00	ND

- ・核種毎の半減期：Cs-134(約2年), Cs-137(約30年)
- ・不等号(<:小なり)は、検出限界値未満(ND)を表す。
- ・基準値(2012年4月1日以降)Cs-134、Cs-137の合計：1.0E+02Bq/kg。
- ・分析機関：東京パワーテクノロジー(株)
- ・ $\text{〇.〇E}\pm\text{〇}$ とは、 $\text{〇.〇}\times 10^{\pm\text{〇}}$ であることを意味する。
(例) $3.1\text{E}+01$ は 3.1×10^1 で31, $3.1\text{E}+00$ は 3.1×10^0 で3.1, $3.1\text{E}-01$ は 3.1×10^{-1} で0.31と読む。

魚介類の分析結果<福島第一原子力発電所20km圏内> (γ)

(7/7)

採取地点	試料名 (部位)	採取日	分析項目		
			Cs-134 (Bq/kg(生))	Cs-137 (Bq/kg(生))	Cs合計 (Bq/kg(生))
2 F敷地沖合10km付近(T-B4)	ヒラメ(筋肉)No.1	2022/10/28	< 3.7E+00	< 3.5E+00	ND
2 F敷地沖合10km付近(T-B4)	ホウボウ(筋肉)	2022/10/28	< 3.7E+00	< 3.7E+00	ND
2 F敷地沖合10km付近(T-B4)	ホシザメ(筋肉)	2022/10/28	< 3.6E+00	< 3.5E+00	ND
2 F敷地沖合10km付近(T-B4)	マコガレイ(筋肉)	2022/10/28	< 4.0E+00	< 3.8E+00	ND
2 F敷地沖合10km付近(T-B4)	マダイ(筋肉)	2022/10/28	< 4.3E+00	< 3.7E+00	ND
2 F敷地沖合10km付近(T-B4)	マトウダイ(筋肉)	2022/10/28	< 3.4E+00	< 3.6E+00	ND
2 F敷地沖合10km付近(T-B4)	ムシガレイ(筋肉)	2022/10/28	< 3.6E+00	< 3.5E+00	ND
2 F敷地沖合10km付近(T-B4)	メイタガレイ(筋肉)	2022/10/28	< 3.3E+00	< 2.7E+00	ND

- ・核種毎の半減期：Cs-134(約2年), Cs-137(約30年)
- ・不等号(<:小なり)は、検出限界値未満(ND)を表す。
- ・基準値(2012年4月1日以降)Cs-134、Cs-137の合計：1.0E+02Bq/kg。
- ・分析機関：東京パワーテクノロジー(株)
- ・ $\text{〇.〇E}\pm\text{〇}$ とは、 $\text{〇.〇}\times 10^{\pm\text{〇}}$ であることを意味する。
(例) $3.1\text{E}+01$ は 3.1×10^1 で31, $3.1\text{E}+00$ は 3.1×10^0 で3.1, $3.1\text{E}-01$ は 3.1×10^{-1} で0.31と読む。